

■グループワークでの意見（全体）

次回以降のワークショップにおける公共施設の再編モデル案の検討に向け、再編手法の理解を深めていただくため、グループワークとして架空施設を用いた公共施設再編ゲームを行いました。

下表では、各グループから出た意見を公共施設の再編における主な視点ごとに分類して記載しています。

※複数のグループから出た意見には下線もしくは二重下線を付しており、二重下線はより多くのグループから出た意見であることを意味します。

民間活用の可能性	効果的な他機能との組み合わせ	サービス提供量の方向性	施設配置	その他の意見
<p>・代替性のある民間サービスの利用促進を図る場合には、利用者負担が増加しないように、利用料金の補助制度などソフト面での検討もあわせて行う必要がある</p>	<p>・<u>子供の成長及び高齢者の健康のために、多世代交流が必要であるため、学校教育機能や子育て支援機能などと福祉機能に親和性があると思われる。</u></p>	<p>・<u>サービスの質の維持・向上を前提としたうえで、の総量抑制でなくてはならない。</u></p> <p>・<u>各サービスの今後の方向性は、利用者数の変化のほかに、サービスの内容や提供方法の変化など多角的な検討が必要である。</u></p> <p>・サービス提供量を増やす必要があるとしても、部屋の使い方などを工夫することで対応できる場合があり、必ずしも施設数の増加につながるものではないと思う。</p>	<p>・<u>高齢者や子どもが主な利用者となるサービス機能は、地域の身近な場所で提供されるべきである。</u></p> <p>・<u>地域に点在させることができない（市域）サービスは、駅周辺に集中させたり、はなバスのルートを調整するなど、アクセシビリティを検討する必要である。</u></p> <p>・複合化された多機能な施設を駅前に配置することにより多くの利用を見込むことができる。</p>	<p>・暮らしやすいまちづくりのために、何を重視した公共施設の再編とするのか検討が必要である。</p> <p>・西東京市の強みを生かしたまちづくりの将来的なビジョンを明確にし、各地域において重視するサービス機能を設定するなどしたうえで、再編の検討を行うべきである。</p> <p>・人口減少などの課題に対し、公共施設の再編だけで対応するのではなく、人口が増加するような政策の検討も必要である。</p> <p>・予約方法の違いなど、公共施設全体で統一されていない部分が多々ある。公共施設予約システムで貸館機能を持つすべての施設の予約を可能とするなどの対応が必要である。</p> <p>・公共施設の空いている時間帯を多目的に使えるようにすべきである。</p> <p>・ハザードマップなどを踏まえ、防災の観点からも再編の検討をしてほしい。</p> <p>・既存施設を有効活用においては、スケルトンインフィルの考え方が重要である。</p> <p>・複合化をするうえで、各機能の動線を考慮したセキュリティ面の検討が重要である。</p> <p>・公共施設は無料である点が強みの一つであり、有料になると使いづらくなる。</p>